

球の違いに早く慣れて

市野球協会 軟式引退の中学3年生対象

塾講
硬式開



大沢塾長から硬式球の投げ方の指導を受ける中学生(能代市民球場で)

軟式野球部を引退した
中学3年生を対象にした

NBA硬式野球塾が6
日、能代市民球場で開講
した。高校入学を前に軟

式から硬式にスムーズに
移行してもらうことが狙
いで、来年3月まで毎週

末行い、硬式球に慣れる
練習に打ち込む。

市野球協会(後藤健会
長)が20年から毎年開い
ており今回で9回目。高
校で硬式野球部に入っ
ても球に慣れるのに時間か
かり、技術習得が遅れ
がちになる。中学野球部
引退から高校入学までの
ブランクを埋め、高校野球
の底上げを図ろうと、元
プロ野球選手でリトルシ
ニア能代の監督を務める
能代高出身の大沢勉さん
(68)「秋田市」が塾長
を務める。

選手を含めて能代山本の
中学3年生21人が参加。
大沢塾長や能代松陵クラ
ブメンバーの指導を受け
てキャッチボールやノック、
トスバッティングなどを行
った。

バットも重くなるためタ
イミングの取り方が大事
になる。バットの芯で打
つことを指導していき
たい」と語った。

八竜中で捕手を務め全
県大会に出場した松森亮
太君は「高校で少しでも
早く活躍できるように硬
式のボールに早く慣れた
い」と話し、練習に打ち
込んでいた。

大沢塾長は「硬式球は
手だけで投げるのではな
く、足と両手のバランス
が大事。バッティングで
は投手の球が速くなり、